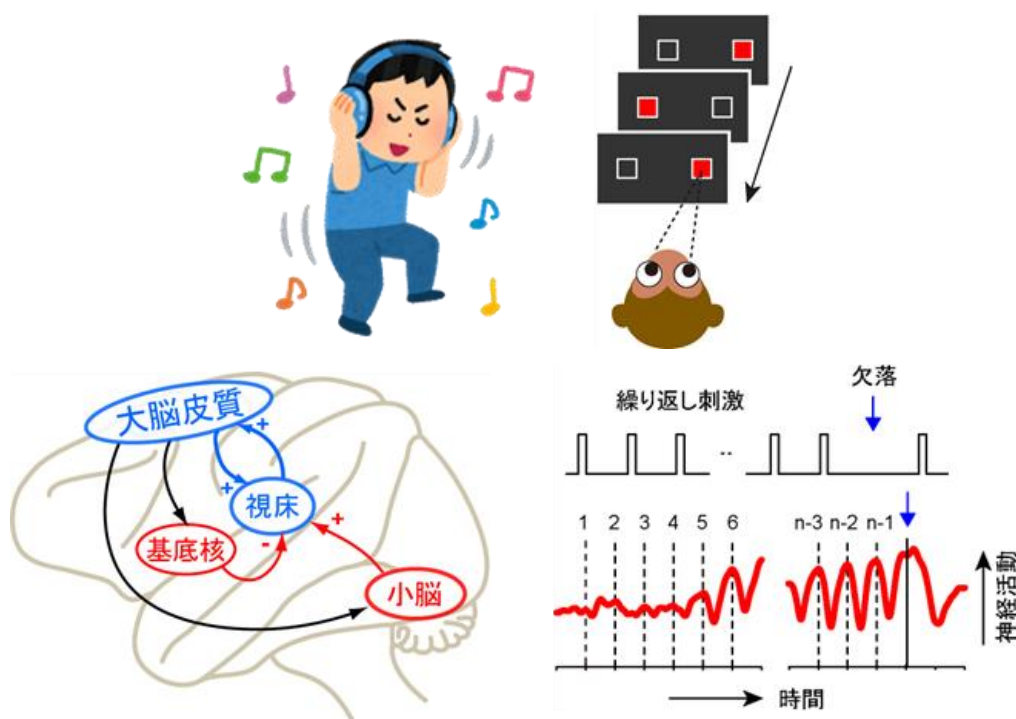


リズムに乗る脳のしくみ

田中 真樹(北海道大学)

音楽に合わせて指や足、頭など体の一部が動いたり、何気なく聞いている曲のテンポが乱れて妙に気になったりすることがよくあります。このように、リズムに合わせて体を動かしたり、そのタイミングを予測したりする機能が脳には備わっています。脳深部にある大脳基底核や小脳がこうした情報処理に関わると考えられており、実際、パーキンソン病や小脳変性症でのリズム知覚や運動異常が報告されていますが、その詳細な神経機構は明らかではありません。本講演では、一定周期で眼球運動を行ったり、繰り返し現れる視覚刺激の欠落を検出したりするように訓練したサルから得られたデータを紹介します、その神経機構について考察します。



北海道大学 教授。
1994年北海道大学医学部卒業。1998年同大学院修了。医学博士。カリフォルニア大学サンフランシスコ校、北海道大学助手、講師、助教授、准教授を経て、2010年より現職。専門は、神経生理学、システム神経科学。現在は、大脳皮質-皮質下ループによる高次機能制御に関心をもっている。